

《担当者名》講師 / 磯部 太一 (心理科学部)

【概要】

生命倫理の概要を、講義形式だけではなく、映像資料などを参照しながら、グループワーク、発表などを実施し能動的に学ぶ。医療現場で問題となっている事例（患者・医療者関係、安楽死と治療停止など）だけではなく、脳科学や生命科学などの現在進行形の研究から起因する倫理的・社会的問題や、社会における医療の役割などを学際的な観点から幅広く取り扱う。

【学修目標】

生命倫理の基本的な概要や問題事例を理解し身につけ、概説できる。
脳科学や生命科学に関わる倫理的・社会的問題について考え、内容を理解し、概説できる。
生命倫理の概要について、自分の日常生活と関連付けながら学び、概説できる。
グループワークと発表などの参加型の学習を通じて、議論するコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養い、実践できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|-------------|---------------|---|-------|
| 1 | ガイダンス | 授業全体の予定や進め方などの概要を説明できる。 | 磯部 太一 |
| 2 3 4 | 生命倫理の誕生と展開 | 生命倫理の概要と社会的・歴史の変遷を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |
| 5 | 医の倫理 | 医の倫理、新しい医療のモデルの歴史と意義を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |
| 6 | 「患者-医療者」関係 | 患者と医療者の関係の歴史と意義を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |
| 7 | インフォームド・コンセント | インフォームド・コンセントの歴史と意義を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |
| 8 | 安楽死と治療停止 | 安楽死の歴史と概要、安楽死の問題点、安楽死を巡る日本の状況、安楽死と治療停止の関係を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |
| 9 | 脳死 | 脳死問題の背景と歴史、脳死の判定基準を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |
| 10 | 臓器移植 | 臓器移植の歴史と問題、臓器移植と法の関係を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 磯部 太一 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|------------|---|-------|
| 11 | グループワーク | 「死の受容」をテーマにしたグループワークの内容を説明できる。【SGD/PBL】 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 礒部 太一 |
| 12 | グループワークの発表 | 「死の受容」をテーマにしたグループワークの内容を説明できる。【SGD/PBL】 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 礒部 太一 |
| 13 | 期末レポートについて | 期末レポートの書き方の概要を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 礒部 太一 |
| 14 | 医療の役割 | 健康と病気、医療の論理、医学の進歩と医学研究の関係を説明できる。 関連するモデル・コア・カリキュラムの学修目標 B-1-1 1)～4) | 礒部 太一 |
| 15 | まとめ | 授業全体のまとめの概要を説明できる。 | 礒部 太一 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末レポート（100%）

定期的に授業内で小レポートを提出してもらい、次回の授業において、提出されたレポートの中で参考となるレポート内容の紹介を行う（成績評価には含めない）。

【教科書】

玉井真理子・大谷いづみ編（2011）『はじめて出会う生命倫理』有斐閣
戸田山和久（2022）『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK出版

【参考書】

小林傳司（2007）『トランス・サイエンスの時代-科学技術と社会をつなぐ』NTT出版
神里 彩子・武藤 香織 編（2015）『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』東京大学出版会

【学修の準備】

- ・授業の前後において、教科書の該当箇所を一読する（80分）。
- ・授業内で出した課題について、次回の授業の際までに行なっておく（50分）。
- ・授業内で実施するグループワークと発表に積極的に参加する。一部、授業外で宿題として実施する（30分）。

【関連するモデル・コア・カリキュラム】

B-1-1 薬剤師に求められる倫理観とプロフェッショナリズム 1)～4)

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。